

事業所名 ※ グループホーム 夢咲園

日付 平成 21 年 12 月 19 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

ホームヘルパー2級
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る ※

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!) ※

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

田んぼや住居が点在する中に「夢咲園」はあり、広々とした敷地の中に建っている真新しい建物は、従来の施設の長所と短所がよく研究されていて、職員には機能的で、入居者には居心地の良い環境条件を備えている。

入居者はドア一枚で二つのユニット間を行き来し、自由な雰囲気の中で生活している。職員は現状に満足することなく、もっと入居者の気持ちに即した介護ができないかを考え、言葉をかけ、寄り添い、見守っている。

また、今年から職員研修にも力を入れており、新しい職員には、いろいろな場面を想定した疑似体験をとおして、入居者の気持ちになって対応の仕方を学んでもらい、職員間のコミュニケーション能力やモチベーションを高め、サービスの向上を図っている。

精巧な猫のぬいぐるみが好評で、入居者は本物の猫を可愛がるようにぬいぐるみを抱いたり、撫でたりしている。家庭的な雰囲気の中、入居者は落ち着いた気持ちで過ごしているようである。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

ホームの活動を地域人々に理解してもらえるように地域との交流にもっと時間を割くことが必要ではないかと思う。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	職員は、自分が入居したくなるような、あるいは自分の家族を入居させたいくなるような、入居者と職員が共に支え合い、入居者が自分の力でできる喜びを味わい、生きがいをもって暮らせるグループホームをめざしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員は入居者本人が好きなことを書き留めておき、できるだけ自分の力でしてもらうように促している。 入居者の気持ちが落ちつかないときは職員と一緒に歩いたり、買い物やドライブに誘ったり、お茶を飲んだり、本人が家でしていたことをしてもらい、気持ちが安定するよう支援している。		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員が日中は他の入居者と一緒にリビングにいるよう動いているが、自分の部屋にいたいときは無理に勤めることはしないで、入居者のプライバシーを大切にしている。 部屋のドアの開閉や出入の際は必ず入居者に言葉をかけ入居者の許諾を得るようにしている。また、家族がいつでもリアルタイムで入居者の様子を見ることができるようインターネットのウェブサイトに動画と音声を配信しているが、プライバシーの保護のためパスワードを入力しないとアクセスできないようにしている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進		○
37	ホーム機能の地域への還元		○
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	家族との話し合いを密にして、自立支援にはある程度リスクが伴うことをよく理解してもらっている。 自治体などが主催する研修に会社がその費用を負担し、職員の参加を推奨して、職員の資質の向上を図っている。		

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、県が別に定めるところにより自主評価結果を添付すること。